

「届けよう、服のチカラ」プロジェクト

社会 道徳 環境 国際理解 総合

- (1) ねらい
- ① 身近な“服”を通じて、難民問題や環境問題に関心を持つ。
 - ② 子ども服の回収活動により、「自分にもできる社会貢献がある」と気付き、自ら行動する力を培う。
 - ③ 回収の呼びかけなどを通じて、地域社会とつながることを理解する。

- (2) 対 象
- ・ 決められた授業期間内に、出張授業を 20 名以上で受講できる小・中・高等学校
 - ・ 授業（クラス単位・学年単位いずれも可）、生徒会、委員会、部活動など枠組みは自由

- (3) 講 師 ユニクロ・ジーユーの社員

- (4) 形 式
- ・ 出張授業（1 単位時間） + 呼びかけ活動 + 回収・発送活動
 - ・ 出張授業では、PC+プロジェクター+スクリーンをご用意ください。

- (5) 概要
- ・ (株)ファーストリテイリング（ユニクロ・ジーユー）が国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）と共に取り組む、児童・生徒むけの参加型学習プログラム活動です。
 - ・ ユニクロ・ジーユー社員による出張授業を受けたのち、児童・生徒が主体となって、着なくなった子ども服を回収します。
 - ・ 回収した服は、UNHCR と連携して難民など服を本当に必要とする人々に届けられます。

- (6) 流れ
- ① 出張授業（1 単位時間）
ユニクロ・ジーユー社員が学校を訪問。
“服”がテーマの出張授業です。
 - ② 校内・地域へ呼びかけ
校内や地域に呼びかける方法を、
子どもたち自身が考え、実践します。
 - ③ 回収・発送
実際に服を回収したのち、指定の倉庫に発送。
 - ④ 報告
難民キャンプへの寄贈の様子を、
ユニクロ・ジーユーからフォトレポートで報告。



- (7) 費 用 「 無 料 」

- (8) 申込み WEB ページにある応募フォームから、**応募期間ご確認の上**ご応募ください。

https://www.uniqlo.com/jp/ja/contents/sustainability/society/youth/school/power_of_clothing/

※Web サイトのみの応募。

実施が決定しましたら、実施日時・対象をネットワーク本部までご連絡ください。

